



FATE/ZERO
GILGAMESH X KRITOCOU
GELATIN

AM3:00NIMIRUYUMEHA

AM3:00に見る夢は

R18



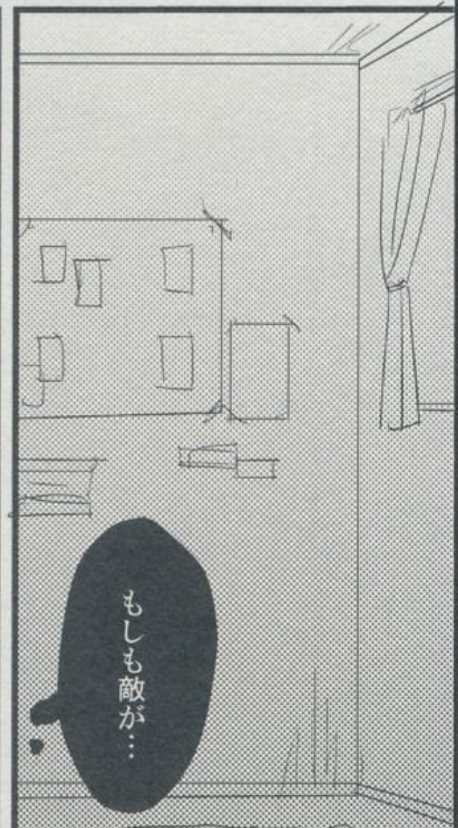
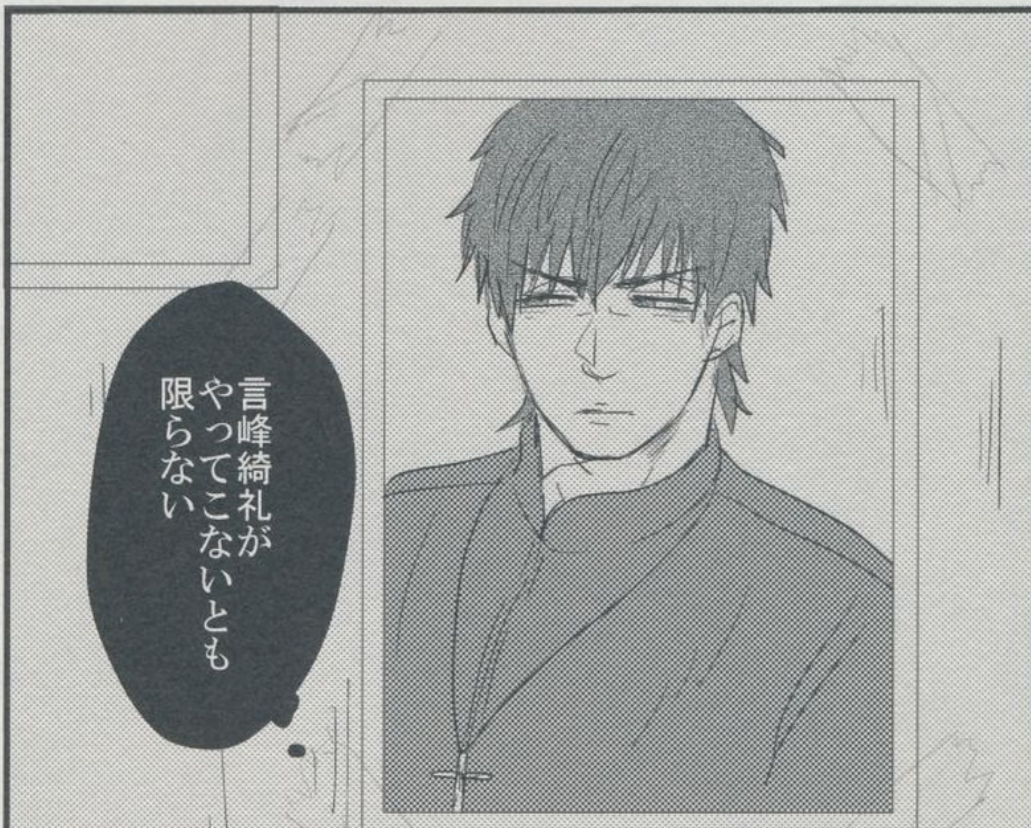
FATE/ZERO:FANBOOK:002
2012:CELATIN

AWM3:00NIWIRUYUWEHA

AWM3:00:3MA 刻變る良に

R18







この手にぬくもりが
欲しいだなんて馬鹿げてる。

おい



……え



!



お前は…



いかにも

アーチャーか？



マスターの命では
なさそうだね

僕を殺しにきたのかい？



そうか…

単独行動スキル…



フン

我がわざわざそんな
つまらんことを
しにくるわけが
ないであろう？

奴がご執心なマスターとは
どんな男なのか…
気になってみに来たのだ



なに
そう警戒するでない

おとなしくしておれば
怪我はさせん



奴…？

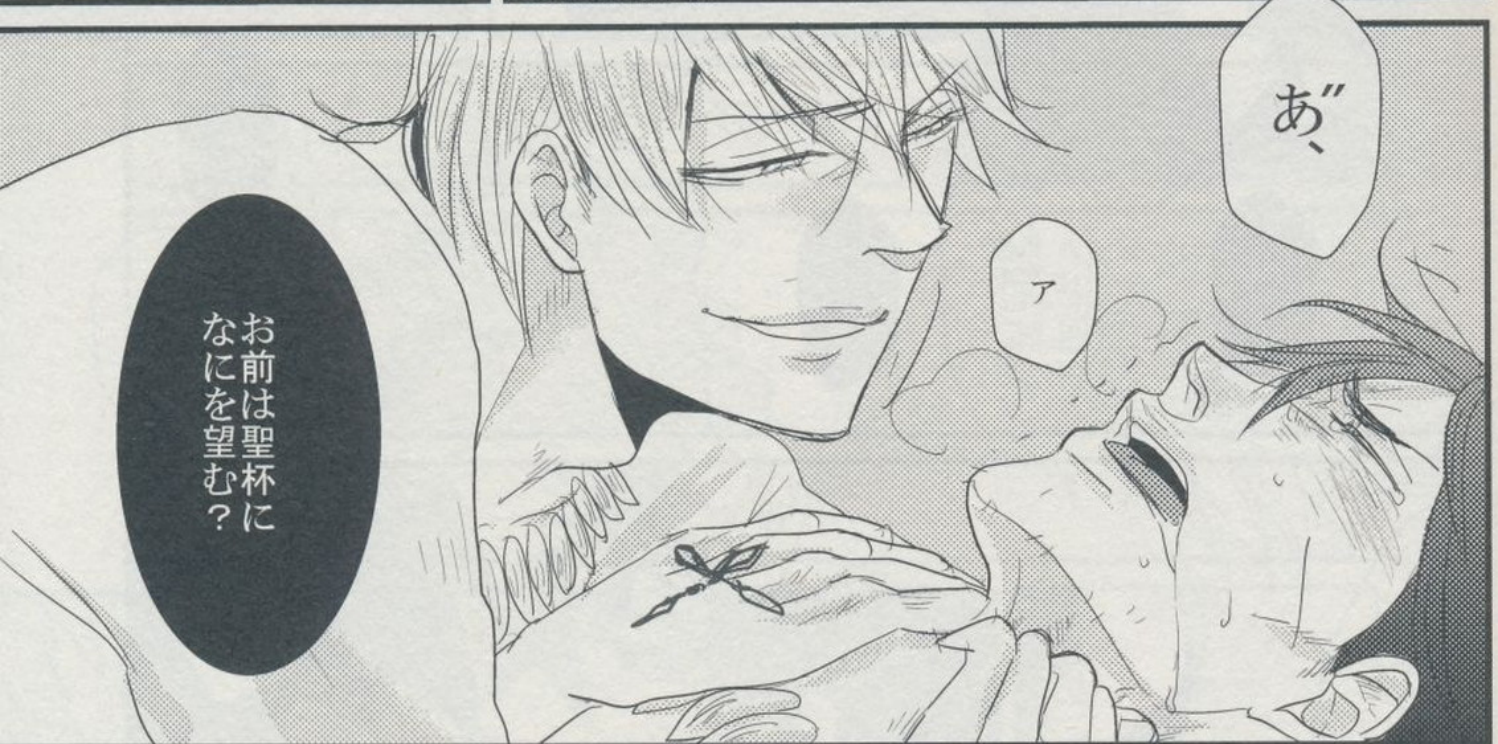
遠坂時臣か？



.....

ほう…なるほどな

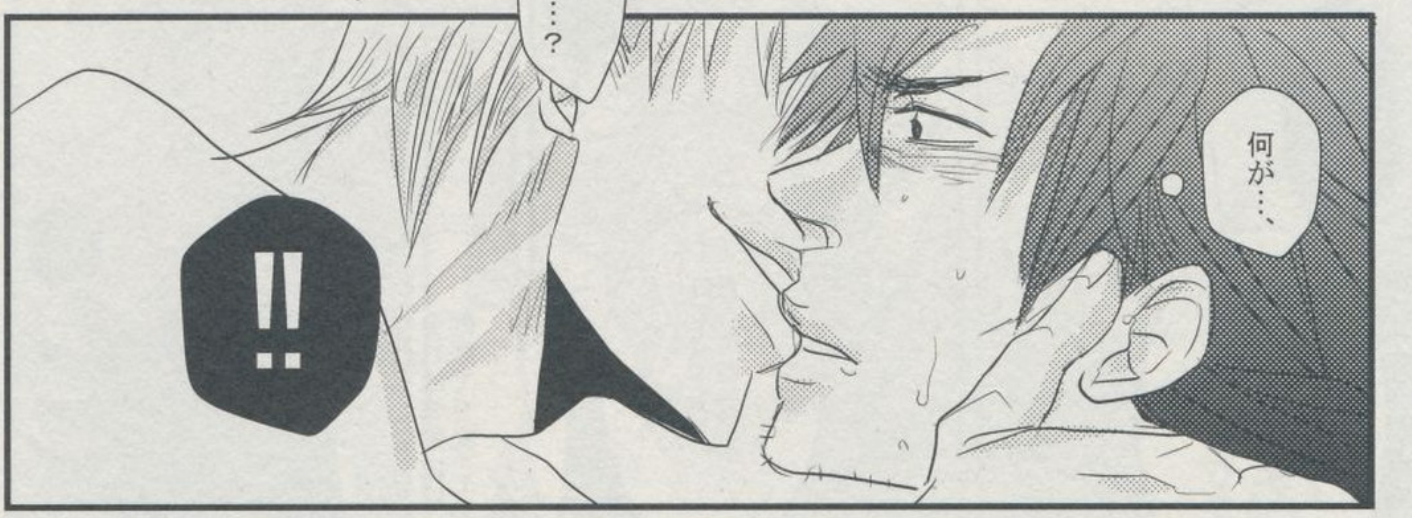


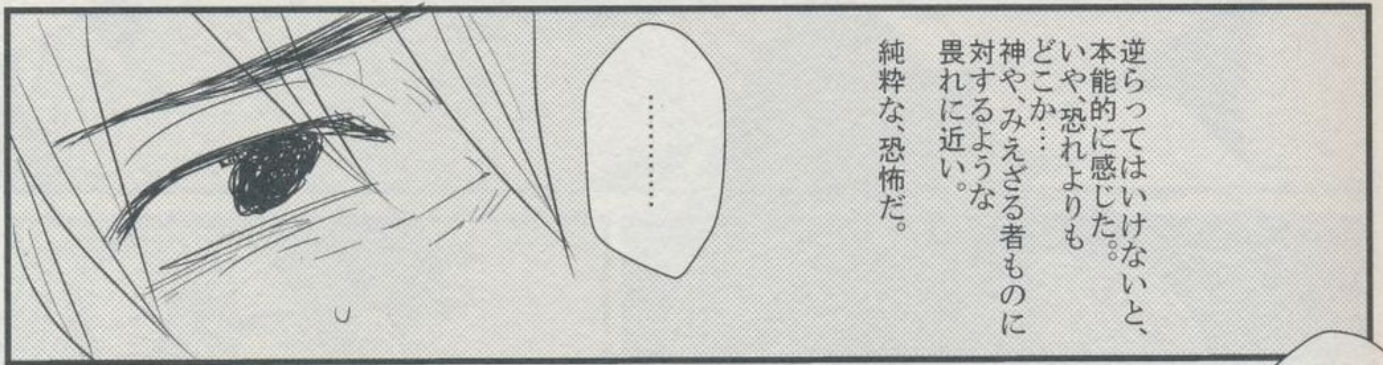


まずお前はそれを手に出来ぬ何故ならお前はアレに辿り着けぬからだ

叶うとでも思っておるのか？

それはお前には到底できぬことだ





逆らってはいけないと、
本能的に感じた。
いや恐れよりも
どこか……
神やみえざる者ものに
対するような
畏れに近い。
純粹な恐怖だ。





んんっ…



うん、



うう、



んはっ…



切嗣
髭を
剃れ

不潔は
好かぬぞ

……
どうしてそんなこと



……

なんだ
今は…
意味が
わからない



コレは
苦いな



意味がないだとか？
それこそ余興というものだ
その意味のないことで
お前は動揺しておるのだ
それだけで
意味をなすというものだ

それにわからない
わけではあるまい？

お前は人間
我はサーヴァント
どうなのだ？

……っ

そうだわかってる
こいつは指の一本で
僕を殺すことも
できるだろう。

そうだ
おとなしく
我の余興に
付き合え

……！

逃げられない……
絶対にだ
でもこんなのは……

お前にはできぬ

逃げることも
死ぬことも

不思議だな？
お前の辿った路が
ありありとこの目に
見えるのだ

願望器に託すものが
あるのだろうか？
お前は自分よりも
大切なものがあるだろう
自分よりもその他多数の
幸せをとるはずだ
だからお前は今何もでき

……



そうであるうう？

チツ…



切嗣よ

こいつは何故
それを知ってるんだ。
何故…。



……あるわけないだろ

……



ここに男を

啜え込んだことは？

……



それは意外だな、
お前はどんな手を使ってでも
敵を仕留める魔術師殺し
ときいたぞ？

この体を使って
敵を騙してきたことも
あるのかと思っていたが？

……



ふん

ではお前は
処女というわけだな？
どれ：
では優しくしてやろう



そんなの有りえない…
あるわけがない



処女はいいものだ
たとえその人生で
ドス黒く染まっていようと
何色にも塗り替えられる

それだけ性行におけるは
快楽と大部分の
人間の大部分の
欲を示している
お前も、変わらぬ



あれもこれも、全部…
塗り替えられるっていうのか
そんなことができるなら
そうしてもらいたいぐらいだよ
捨てられるならいい
捨てられない
僕は…
ああ、そうか
そうだ、いつもまた英雄だった
どこぞの偉い王様なんだろう
そんな奴にわかるはずもない。

何色にも、
塗り替えられる…



随分と
余裕なのだ
切嗣よ

力を抜け
つまらぬことを
考えておる場合か？

……

……う！

びくん

こんなの
気持ち悪いだけだ

……

ぬちっ

ぬっ

フン

大人しくしておる
ではないか
優しくしすぎたか？

……

う、

ん



えっ、



もうよいな
充分ほぐれた

……



イ……!!

ヒイツ……!!



もっと
こっちへ来るのだ



よい



よろこばせ
だけだ

声を出すな……

う……



え…



!?



なんだこれは



アーチャーの記憶？



マスターと
サーヴァント同士でなくとも
一部のパスが
繋がることもあるのか…？

考えられない

それにしてもこれは…
見てはいけないものだ



いや…まさか

マスターでもな
僕がなぜ…



怖い…

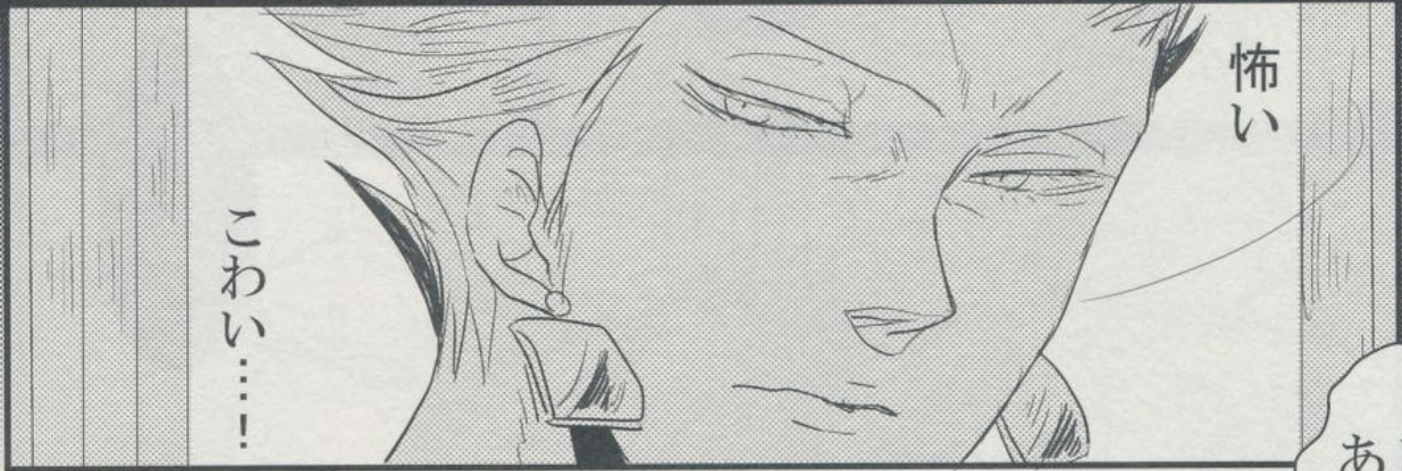
嫌だ



見るな…



いやそうじゃない
駄目だ
見てはいけない
んじゃない
見たくない
怖いんだ
こっちを向くな



怖い

こわい…!!



ヒいっ…!!
ああああ、アア!!

ひっ、
やめてくれっ!!

やめてえ!

あア!



ふん…
なにか見えたよ



こわい…



好きなだけ喚け
悲鳴をあげるがいい

あ



まあよい
そんなものは偶像にすぎん

やつ、

ひい、

ひぐツ……!



ああ、アアッ……!

うう、

いやだあ

ズツ、

アあッ……!



そうしてお前は
あの男に道を示すのだ



あ、あああああ



いっ

グァッ
ッ

血を吸われる感覚は、
気持ちのいいものではない。
今ここで恐怖しか感じられないのは、
記憶を覗かれるような感覚と、
もうずっと奥底にあるはずの自身を
掘り返されるような気がするからだ。
見ないでほしい。

やめろ、やめて

あ、ああつ

あつい…

やだ、

す、す

しゅっ

しゅっ

しゅっ



切嗣



気をやったか
つまらん

だが面白いものを
みせてもらった
貴様に興味が
湧いてきたぞ？

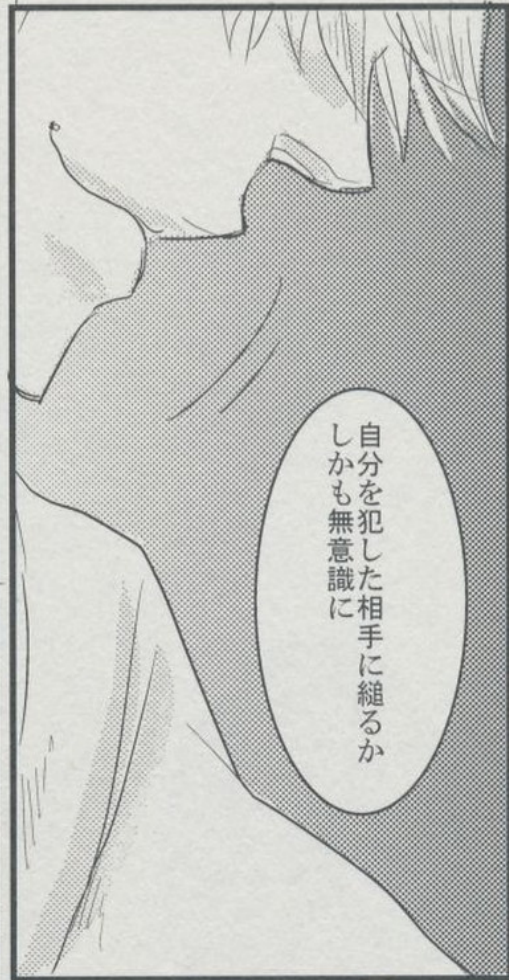


あ…



ふん
人間というものは…
どこまでも無力だなあ…？

それ故に、
這いずり回る様が愛おしい



自分を犯した相手に縋るか
しかも無意識に



存分に
眠るがよい



最後にあの男の前に
現れるのは
おまえでなければならぬ

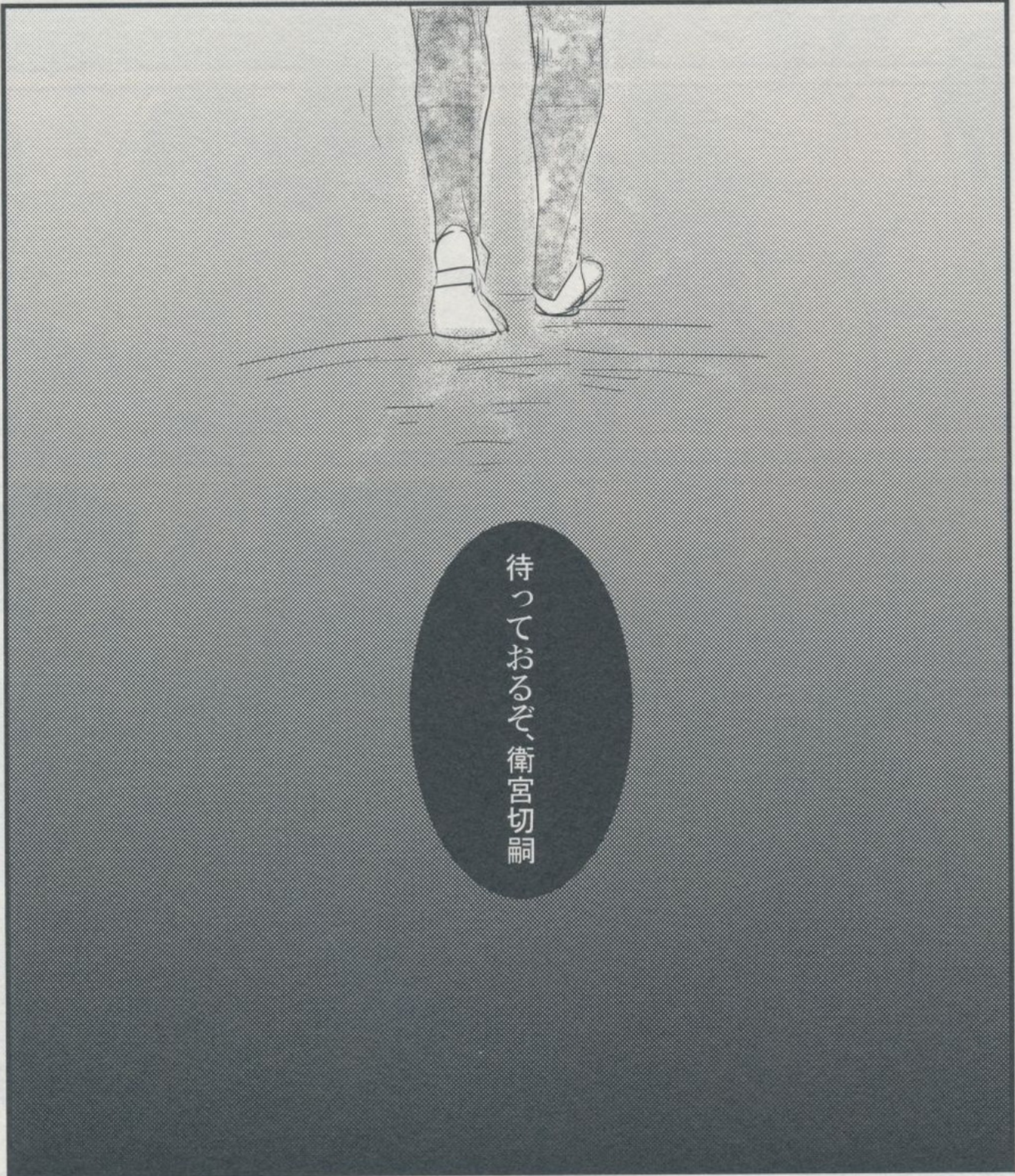


あの男が自身の
愉悦そのものを掴むか
：はたまたお前が
聖杯を掴み
望みを叶えるのか

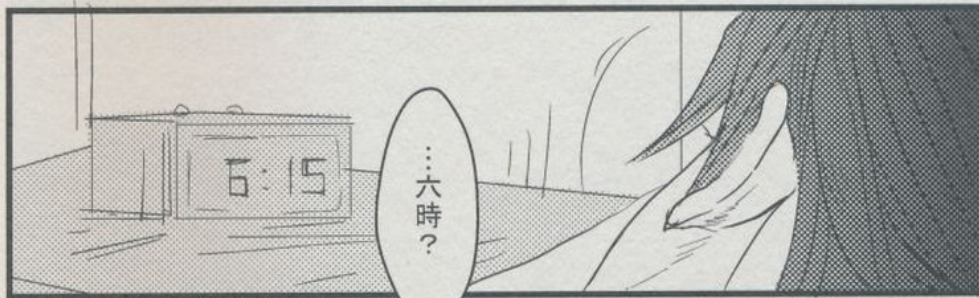
もしも
後者であったならば…



その時はまた
この腕で
愛でてやろう



待っておろそ、衛宮切嗣





夢なのか……？
最悪だ……



体も
なんともないし

部屋も
寝る前のまま



あの
サーヴァントと
まさかね



自分が思っている以上に
疲れているのかもしれない

歳かな……



でも、
なんとなくわかる
聖杯に辿り着くとき
僕はあのサーヴァントと
会うだろう



僕でなくてはいけない

僕が、いかなくちや

AM3:00に見る夢は

はじめまして。Fate本一冊目です。002と書いてありますが、嘘っぱちです。間違えました。
金切っていいな。
切嗣さん、勃起してないしイッてないしで、なんだか可哀想なことをしてしまった気がします。
切嗣さんは仮性包茎普通サイズくらいだといいなと勝手に思ってます。
次はもっと内容的にも濃いものを書いてみたいです。
また次もお会いできたらうれしく思います。

ゼラチン/Z氏(ゼラ)

AM3:00に見る夢は

[date] 20120624

[genre] Fate/Zero FanBook #002

[publisher] GELATIN / Z氏

[contact] bargnir007@yahoo.co.jp

[pixiv] id=2318701

[print] トム出版様

禁・無断転載ネットオークション